

平成 30 年度 研究助成申請書

平成 30 年 月 日

一般財団法人 レントオール奨学財団 御中

(ふりがな)
申請者氏名 _____ 印

申 請 者 に 関 す る 事 項	所属・職名			
	所属機関の 所在地 (連絡先)	〒	TEL ()	— (内線)
			FAX ()	—
			E-mail	
	自宅住所	〒	TEL 自宅 ()	—
			携帯 ()	—
生年月日	昭和・平成 (西暦)年 月 日 (満 才)			
学 歴	(大 学)		年 卒業	
	(大学院)		年 修了	
学 位	大学 (年 月 取得)			
[助 成 課 題 名] (助成金を受けようとする研究の課題名、40 字以内でお書き下さい)				
[助 成 金 申 請 額] (100 万円を越えないこと)				
<div style="text-align: right;">万円</div>				

研究助成申請書

助成課題名（1 ページ目を切り離しますので、ご面倒でも再度記入下さい）

1. 研究の目的と意義（財団趣意との関連を含め、180 字以内でお書き下さい）

2. 研究の特色（独創性、新規性、優位性等を、150 字以内でお書き下さい）

3. 研究内容のキーワード（研究分野、技術分類、要素技術等を 5 個以内お書き下さい）

4. 研究内容の抄録（次ページ以降の「研究の具体的内容、方法等」を、250 字以内に要約して下さい）

5. 研究の具体的内容、方法等

(①研究の具体的内容 ②進め方 ③期待する成果等を 1000～1500 字程度で項目別に簡潔にまとめて下さい)

(前ページより続く)

(不足する時は、このページをコピーして下さい)

6. 共同研究者（いる場合はその方の氏名、所属、職名を記入下さい）

7. 研究実施計画（当財団は原則として1年と考えていますが、複数年を予定されている場合はその期間を記入して下さい）

平成（西暦）年 月 から平成（西暦）年 月まで
年 か月間

8. 助成金申請額と主な用途

（1）助成金は、研究の推進に必要なものであるならば用途の制限はありません。

申請する研究プロジェクトの全体経費において、当該申請額が占める大凡の割合とその必要性について記述して下さい。

（2）当財団の助成金を想定して、申請研究課題への用途を記入して下さい。

助成金申請額 万円（100万円を越えないこと）

（使用内訳）

①人件費(アルバイト謝礼金)	万円
②旅費交通費(交通費、宿泊費、日当等)	万円
③設備費(20万円/件以上の機器・ソフト購入費)	万円
④材料費(研究材料費、消耗品費等)	万円
⑤その他(研究者招聘費、学会参加費、論文作成費等)	万円

(3) 購入予定設備の内容を記入下さい。

(品名・仕様・金額)

9. 本研究に関連して、過年度に他の機関、団体からの資金援助等
(受領年度、機関名「公的機関・財団等」、金額を記入下さい)

10. 本研究に関して、他の機関、団体への申請の有無

有 ・ 無

(有の場合：金額 万円)

(申請機関名)

11. 研究歴について

(1) 現在行っている主な研究分野

(2) これまでに発表した代表的な論文、授賞等
(論文は重要と思われる順に記入下さい。尚、申請課題に関連する論文は、○を付けて下さい)

12. 所属する学会名

13. 本研究成果を発表或いは投稿する学会名 (予定で結構です)

14. その他付記事項

所属機関長の承諾書

研究の承認

本申請(申請者)が、貴一般財団法人の研究助成課題対象に採用された場合には、申請機関の研究実施を承諾します。

平成 年 月 日

所属機関長役職

所属機関長氏名

印

平成 30 年度 研究助成申請書 (全 8 ページ完)